

建て替え工事期間中も環境学習館が使えるように！

環境学習館の利用市民団体が市長に要望書を提出

環境学習館建て替え
市は約1年間閉館する意向

さる6月議会において、環境学習館建て替えに関する湯谷議員（初心の会）の一般質問に対し、市は「新館と現会館の位置が干渉するため、工事期間1年間は使用できない」と答弁しました。

利用市民から「1年間も使えないのは困る」と、強い苦情が寄せられています。

日本共産党の船橋議員は、湯谷議員と共に利用市民団体と協議し、5団体の代表者



現在の環境学習館（8月6日撮影）

が市長への要望書を提出することとなりました。

「利用者の意見も聞いて、対応を検討したい」と市長が回答

8月23日、団体代表者が市長に「できる限り閉館を求め、要望書を提出。船橋議員が同席し、懇談しました。

団体の方々からは「黒浜地域で1年間コミュニケーションがなくなるのは、高齢者にとつて精神的にも肉体的にもダウンする怖さがある」「前回の建て替えの時も1年間休館で、他の場所を借りる負担が大きかった」「休館なら代替案がほしい」「新学習館には調理室がぜひほしい」等の意見が出ました。

市からは建て替えの経緯などの説明があり、次のような回答がありました。
① できるだけ閉館期間短縮を検討するが、工事の都合上

ゼロにはできない。

② 閉館中は近隣の学校や自治会館が使えるか、関係者と調整を検討したい。

③ 正式にいただいた今日の要望も踏まえ、「環境学習館建設等検討委員会」で検討する。



中野市長（中央）に要望書を手渡す5団体の代表と船橋ゆき子市議（左端）

要望書提出した市民5団体

- ・ 蓮田市くらしの会
- ・ 新日本婦人の会
- ・ 体操教室たんぽぽⅡ
- ・ 絵手紙サークル秋桜
- ・ NPO法人黒浜沼周辺の自然を大切にする会

新環境学習館建設の今後について

今後について

市では、地元自治会や小学校、保育園、障がい者施設、NPOの代表など10人で構成する「検討委員会」で2階建ての新館建設を検討しています。

黒浜は特に集会施設が少ない地域です。できる限りの開館と、代替施設、新館の内容充実が必要で、今後も引き続き、市へ働きかけていきます。



↑ ハスの枯れた茎に止まるシオカラトンボ

↓ 黒浜沼の風景

